

令和 7 年 3 月 4 日
国土交通省中部地方整備局
長 島 ダ ム 管 理 所

全 国 初 !

「ダムの維持管理を目的としたレベル 3.5 飛行」 ハイブリッド型マルチコプターを使用した 長時間ドローンの飛行試験を実施します。

国土交通省中部地方整備局では、長島ダムを今後も安全かつ適切に管理していくため、ドローンを活用した効率的な施設点検を実施する取り組みの一環として、長時間ドローンの飛行試験を実施します。

1. 日時

- ・飛行試験 令和7年3月13日（木）
 - ・予行演習 令和7年3月11日（火）、12日（水）
 - ・予備日 令和7年3月14日～21日（土日除く）
- ※実施日は、天候等の都合により延伸することがあります。

2. 場所

別紙参照

3. 飛行方法について〈カテゴリーⅡ（レベル 3.5 飛行）〉

別紙参照

4. 取材のご案内

飛行試験の実施判断は、当日の天候都合等で判断しますので下記問合せ先に前日・当日に実施の有無をお問い合わせいただけますと幸いです。

別途デモ飛行時の映像データについて、ご提供することも可能です。

配布先	問合せ先
国土交通省 長島ダム管理所	
中部地方整備局記者クラブ	管理所長 川口 一彦
島田記者クラブ	管理係長 林 駿輔
静岡県政記者会	TEL : 0547 (59) 1021
	FAX : 0547 (59) 1026

～ドローン飛行のお知らせ～

長島ダム接岨湖においてドローンを活用した施設点検を行います

長島ダムを今後も安全かつ適切に管理していくため、ドローンを活用した効率的な施設点検を実施する取り組みの一環として、飛行試験を行います。この飛行試験では、主に長島ダム接岨湖及び周辺の林地内上空をドローンが飛行いたします。

飛行ルートにつきましては、次頁の飛行計画図をご参照ください。

【目的】

長島ダムの管理施設を効率的・安定的に点検していくために、「ドローンによる飛行試験」を行うものです。

【点検内容】

船を用いて実施しているダム湖面状況の確認及びダム湖周辺施設の変状の確認を、ドローンに搭載されたカメラによる映像から確認できるか検証します。

【期待される効果】

現在実施している船を用いたダム湖周辺施設の点検について、以下の効果が期待されます。

省人化：点検に必要な人員を削減されます。

効率化：点検にかかる時間が短縮されます。

高度化：ダム湖の状態によらず点検が可能となります。

安全性向上：危険な箇所に近寄ることなく点検が可能となります。

【飛行方法】 本飛行試験では、カテゴリⅡ（レベル3.5飛行）にてドローンを飛行します。

飛行速度：時速18km以下

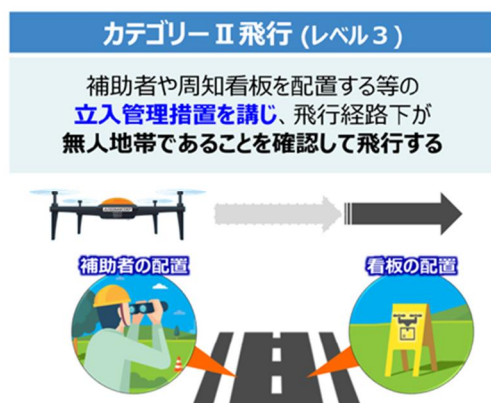
飛行距離：約17km

飛行時間：約2時間

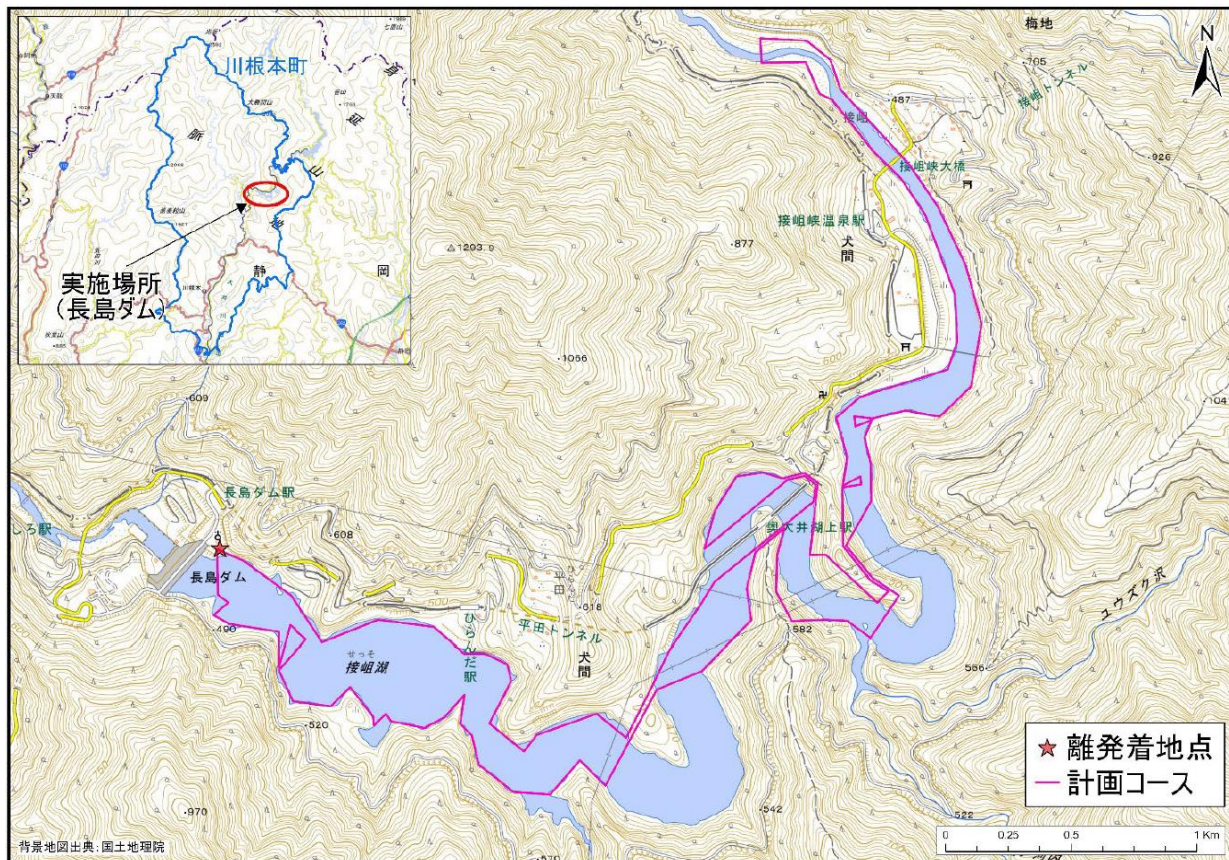
<カテゴリⅡ（レベル3.5飛行）とは>

航空局の許可のもと実施するレベル3.5飛行のイメージを以下に示します。

本飛行試験の飛行方法



【飛行地域】 長島ダム（接岨湖）周辺



※ 飛行コースは湖面上空を飛行予定ですが、現地状況を踏まえ変更となる場合があります

【飛行期間】

- ・飛行試験 令和7年3月13日（木）
 - ・予行演習 令和7年3月11日（火）、12日（水）
 - ・予備日 令和7年3月14日～21日（土日除く）
- ※実施日は、天候等の都合により延伸することがあります。



【使用機体（ドローン）】 ハイブリッドドローン「GLOW.H」

＜機体の特徴＞

- 【ハイブリッド】小型の発電機を搭載し、内蔵バッテリーを充電しながら飛行します。
- 【長時間飛行】カメラなどを搭載した状態で2時間程度の飛行が可能です。
- 【長距離飛行】汎用機で用いられている2.4GHzに加えて、LTE通信が可能であるため、操縦者と機体の距離が離れていても、LTE通信圏内であれば遠隔操作・監視が可能です。

この調査に関する問合せ先

受注者 株式会社パスコ 中部事業部 技術センター ☎052-239-5140(直通)

担当者 深谷、杉本、加山

発注者 国土交通省 中部地方整備局

中部技術事務所 品質調査課 ☎052-723-5706(直通) 担当者 辰巳、辻

河川部 河川管理課 ☎052-953-8155(直通) 担当者 田中

長島ダム管理所 ☎0547-59-1021(直通) 担当者 林